

【大上さん確認版】北京のMBA、長江商学院（その1）

<http://tyamauch.exblog.jp/18004818/>

中国、北京に、学費が日本円で2年間で約900万円(EMBA)という、超VIPなMBA(経営管理大学院)だけの私立ビジネススクールがあると、そこの職員で日本へのマーケティングを担当する大上(おおうえ)智子さんに聞いた私は、北京で2日間みっちりインタビュー取材をしてきました。

まずは、学位取得のMBAではなく、公開講座EE(エグゼクティブ・エデュケーション)を担当する、王(Juan Wang)さん。以下、通称のジェニファーさんとする。

●まずは公開講座(EE)の話を中心に

EEは、EMBAを修了した、社長クラスの上級企業人を対象とした、ノン・ディグリーのプログラムで、公開募集をしている。特定の企業向けにカスタマイズしたプログラムと、公開講座の2つがある。広東の電力会社の社長、空港の社長、銀行のトップなどが受講生。ジェニファーさんのようなEE担当職員は5人いて、MBAやEMBAには関与しない。講座は複数あるが、メジャーなものは3日間のプログラムで、1日8時間の講義。9時~12時と、13時半~17時。金土日の3日でやる。1クラスは30~50人まで。

1つのコースに、ミクロ経済、ファイナンス、リーダーシップ、マーケティングなどの科目がある。公開講座は決まった日にやるが、企業カスタマイズは企業の都合に合わせて開催。4人ぐらいの先生が1コースを担当し、ファイナンス+関連授業などのように教える。

ジェニファーさんたちはまず、テーマを決めて、優秀な教員を探してくる。1回だけのプログラムから、1年間のプログラムまである。5~1月のプログラムで、そのなかで月1回、金土日に集中して学ぶなどしている。「チャイナ・カントリー・マネージャー・プログラム」の学費は92万円(1元=13円)。

教員は3種類。フルタイム、客員教員、契約教員。契約教員は自分の会社を持っている人の特別講座などをする。海外の会社の人で、評判のいい経営者や、他大学の先生なども連れてくる。これに比べれば、MBAを教えている教員はしょぼい。

エグゼクティブ・エデュケーションのカリキュラムは毎年変えていく。受講生による評価で、ダメな教員は1年でクビ。プログラム開発と評価の権限は、R&D(リサーチ&開発)担当の5人の職員にある。彼女たちは研究開発部隊。

*教員のクビを切れる職員! まあ、公開講座の話ではあるが……。

MBAを取得している職員もいる(全員ではない)。オープンプログラムは、需要によってカリキュラムをデザインしていく。コロンビア大学、カリフォルニア大学とも連携している。

職員は、教育プログラムを作るチーム、受講生を募集するチーム、企業に営業や広告宣伝をするマーケティング・リサーチ・プロモーションのチームなどがある。

MBA の平均年齢は 28、29 歳、EMBA は 39、40 歳ぐらいでなおかつ経営層の人たち。公開講座 EE は 35～40 歳ぐらい。年齢制限は無いが、学位取得プログラムの方は、あまり年齢が高いとインタビューで落とす。EMBA は 8 年以上の在職経験のうち最低 5 年は管理職経験が必要。日本の管理職とは違い、「会社を運営した経験」がある人だけが応募資格があるので、本当の社長、副社長クラスの人が 80% を占める。

「50 歳以上の受講生は受け入れられない。どうせもう社会に貢献しないから。EE も MBA ・ EMBA などと同じく昇進する、あるいは企業を発展させるためのもの」（ジュニアさん）

EMBA の学費は 2 年で 65 万元。北京、上海、深センの 3 キャンパスで学生は年間約 600 人なので、収入は日本円で年間 50 億 7000 万円。授業は毎月 4 日間（木金土日）だけ。

公開講座 EE の「チャイナ CEO プログラム」は、中国のトップ企業の経営者だけのプログラム。学位は出ないが学費は 92 万元。募集は 50 人程度で 80 人ほどが応募してくる。この講座は CEO しか入れない。アリババなどの大企業や、国営企業のトップが来る。北京で 5 日、コロンビア大で 5 日、ケンブリッジ大で 5 日で学ぶ。東京は早稲田で学ぶ。ソニーの出井さんや、遠藤功教授から学ぶ。

日本人など、海外の経営者が中国でビジネスをするための、現地法人総経理、董事長向けの「カントリーマネージャー」プログラムもある。20～25 人で 1 クラス。7 日で 6 万 8 千元。2 日は北京、3 日は上海、残る 2 日は海南島で巨大年度フォーラムに参加。卒業生や MBA の学生、現地政府幹部など 1000 人が来て、交流ができる。

中国の海南島は現在、ハワイ化し、投資が集中している。カントリーマネージャープログラムの授業料はすごく高いが、自腹なので学生のモチベーションは超高い。MBA よりも短期間で、学位も取れないが、受講生の自主性を尊重している。講師は受講生の満足することを教えないといけない絶対的な義務がある。このプログラムに応募してくるような受講生は実用的な内容でないと満足してくれないので、教員は本には載っていない最新のケース、実用的なケースを調べ上げて取り扱う。1 つの授業を研究者教員＋企業経営者の実務家教員の複数教員で教える。

3 種類以上の先生がいる。学者、企業経営者、実務家。3、4 人の先生で 3 日間。研究者教員は、企業経営者である受講生との交流を通じて、最新の経営のニーズをつかむ。学生に事前インタビューをして要望を掴み、教える内容をカスタマイズする。普段 EMBA でも教鞭をとっている講師は、そこでの授業をもとに、受講生の最新のニーズを汲んで、彼らと交流し話を聞いて、それを自分の専門と組み合わせる。受講生が IBM の社員なら、教員は自分もコンピューター業界の勉強をしてニーズを予測し、カスタマイズされた内容を組み立てる。

教員のギャラはとても高い。コストの 60% が人件費。海外からもビジネスクラスチケット

トを提供して講師を招聘する。教員はR&D（リサーチ&ディベロップメント）チームの職員が、ケンブリッジなど世界中から集めてくる。授業内容は厳しく受講生が評価し、評価が低ければпой。コミュニケーションのない教員の評価は低い。

でもダメなケースはとても少ない。学校側が厳しく見極める作業を怠らない。初めて使う人は試しに短い期間使ってみる。教えていくうちにうまくなっていく先生もいる。本当に学生の要求は高い。

ハーバードビジネススクールからケーススタディを買ってくるほか、教授が自分でケースを開発する。さらに「ケースセンター」に10人の専任職員がいて（半数は学生インターン）、教授の指導のもと、ケースライティングをしている。開発したケースはMBA、EMBA、公開講座でも使える。無料でウェブサイトに出している。

EMBAとMBA、FMBAを合わせるとすでに6千人が卒業（公開講座は別）。EMBA、MBA、FMBA、公開講座の4つのプログラムそれぞれにオペレーション、マーケティング、R&D、セールスの職員がいる（いないところも）。公開講座は卒業生にならないが、92万円のCEOコースの人は同窓生待遇を受ける権利がある。全世界に35の校友会支部がある。

コロンビア大、ケンブリッジ大との合同プログラムがある他、ニューヨークとロンドンに事務所がある為、アメリカやイギリスとの協業が多い。

中国企業は、日本で沢山成功しており、日本市場には魅力がある。日本企業はグローバル企業として成功している企業がアジアの中で際立って多く、リーンマネージメント、ジャストインタイム生産システム（カンバン方式）も注目に値する。日本の教授を呼んで来て同時通訳で授業をしてもらうこともある。

営業担当の職員は、セールスで契約を獲って来てもボーナスは出ない。普通の年度末ボーナスの査定に影響は出る。利益を上げるために商業的なセールスではないので競い合わない。営業成績も一部に加えた社内評価制度はある。イギリスでMBAを取得したジェニファーは、上海にあるライバルMBAのシービス（CIEBS＝中欧）から引き抜いた。中欧はヨーロッパと提携し、外国のエグゼクティブに広く門戸を開放している。

★エグゼクティブ・エデュケーションプログラム2012

モジュールとは、（木）金土日の1つのまとまりの事。8モジュールなら8カ月のプログラム。CEOたちは多忙なので、月1回、週末に集中講義を受ける。

1 ブランド企業プログラム

- ・中国企業CEOプログラム 8モジュール5月スタート 92万元
北京、三亜（海南島）、昆明、ニューヨーク、ロンドン、東京、サンパウロ、ローザンヌなどを飛びまわる。
- ・金融CEOプログラム 8モジュール 5月スタート 92万元
- ・CEOリーダーシッププログラム 8モジュール 6月、10月スタート 38万8000元
- ・中国カントリーマネージャープログラム 3モジュール 9月スタート 6万8千円

2 グローバルプログラム

- ・長江 - コロンビア大 MBA 合同 グローバルストラテジープログラム
1 モジュール 8 月実施 ニューヨーク 6750 元
- ・長江 - ケンブリッジ大 グローバルストラテジープログラム
1 モジュール 開催月未定 (新規のため) 値段未定
- ・新興市場 BRICs 四カ国課程 4 モジュール 開催月未定 値段未定
ブラジル、ロシア、インド、中国で研修する。
- ・中国企業グローバル化戦略実践 4 モジュール 10 月スタート 中国、米国、ブラジル、日本
- ・アジア海外研修 9~11 日間
日本とアセアン (シンガポール、インドネシア) の 2 プログラム。それぞれ 13 万 5000 元と 8 万 5000 元。
- ・欧州海外研修 9~11 日間
スペイン、フランス、フランス&ドイツ、イギリスの 4 プログラム。12 万 5000 元。
- ・北米海外研修 9~11 日間
米国東部 1・2、米国西部の 3 プログラム。12 万 5000 元。

3 総合マネジメントプログラム

- ・資本市場および企業投資解決策 7 モジュール 8 月スタート 北京、上海、深セン 16 万 8000 元
- ・ハイポテンシャル・エグゼクティブ開発プログラム 10 日間 年 3 回スタート 北京、上海、深セン 7 万 8000 元
- ・ヒューマンリソース管理と新視野 4 モジュール 北京、上海、深セン 6 万 8000 元

4 業種別管理プログラム

- ・長江 - 南カリフォルニア大合同 カルチュラル&クリエイティブ産業 高度経営プログラム 3+3 の 6 モジュール 北京、上海、三亜、ロサンゼルス 19 万 8000 元
- ・長江 - ロンドン芸術大学合同 カルチュラル&クリエイティブ産業 高度経営プログラム 4 日間 2013 年 4 月スタート ロンドンで開講 値段未定
- ・不動産業プログラム 8 モジュール 北京、上海、深セン 19 万 8000 元
- ・長江 - 南カリフォルニア大合同 不動産業プログラム 5 日間 ロサンゼルス 値段未定
- ・エネルギー産業プログラム 8 モジュール 北京、上海、深セン、三亜 19 万 8000 元
- ・サービス産業プログラム 8 モジュール 北京、上海、深セン、三亜 19 万 8000 元
- ・卓越企業指導力 3 日間 北京 3 万 5800 元
- ・キャピタルマーケットと危機管理 3 日間 北京 3 万 5800 元
- ・戦略企画とビジネスモデルイノベーション 3 日間 上海 3 万 5800 元
- ・リーダーシップと組織最適化 3 日間 上海 3 万 5800 元
- ・Integrated マーケティングコミュニケーション 3 日間 深セン 3 万 5800 元
- ・財務管理と非財務管理 3 日間 深セン 3 万 5800 元

5 EMBA 修了後プログラム

- ・伝統中国文化プログラム 10 モジュール 北京、曲阜、無錫、武漢、成都など。14 万

5000 元

・精選西洋学問プログラム 10 モジュール 北京、上海、青島、アモイ、杭州など。14 万 5000 元

・wealth (財富) 管理プログラム 5 モジュール 北京、上海、深セン、三亜 16 万 8000 元

公開講座である EE (エグゼクティブ・エデュケーション) プログラムは、以上ですべて。これらは学位は取得できず、中国企業 CEO 課程以外は同窓生という扱いにもならない。この時点ですでに圧倒的に充実したプログラムなのだが、まだ本丸の、学位取得できる MBA、そして EMBA の話はこれからだ。

【大上さん確認版】北京の MBA、長江商学院 (その 2)

<http://tyamauch.exblog.jp/18008291/>

ジェニファーさんインタビュー終わり。続いて、MBA マーケティング担当のロバートさん (欧米系) にキャンパスを案内してもらおう。キャリアマネジメントセンターという就職課の話や、入学すると全員が iPad がもらえるといった話を聞く。

Robert Welch さん

International Marketing & Admissions Manager

MBA 保持者

公認の就職サークルがあり、それぞれに卒業生のメンターを付ける。サークルは 11 あり、コンサルティング、アセットマネジメント、マーケティング、ヘルスケア、Toast Master (スピーチやプレゼンテーション能力を育成するサークル、弁論部など) など。EMBA の卒業生 16 人が MBA 生のメンターとなる。メンターはボランティアで、現在は 1 人のメンターが 3 人受け持っているが、いずれは 1 対 2 の比率にしていく。「成功者が指導者」の体制。一緒にサッカーをしたりカラオケに行ったりする。

ほとんどの部門のオフィスを見学したが、びっくりするぐらい職員の労働環境が良い。

●夏蓮さんに聴く MBA の話

続いて、ロバートさんの上司の夏蓮さん (MBA&FMBA 副主任) からお話を聞く。夏蓮さんは MBA プログラムの担当のリーダーだそう。

長江商学院は、李嘉誠 (りかしん) 氏という香港の大富豪の基金会から多大な援助を受けて 2002 年に設立。全世界のために新しい企業家を作り出すことを目標にしており、北京、上海、深センにキャンパス、香港、ロンドン、ニューヨークに事務所を持つ。

長江商学院の差別化戦略。1. 世界的教授陣。米国のテニユアがないと教授になれない。ペンシルベニア大学ウォートンスクール、イエール、スタンフォード、UC バークレー、M

IT、コロンビアなどから、各分野のトップの教員を引き抜いてきた。

教授陣は圧倒的に「研究重視」。米国以上の待遇で引き抜いてきた上に、研究環境も万全に整備する。教授の仕事は研究と論文であり、契約以上の授業を教えるのは別料金が発生。研究面においてアジアナンバー1のMBAを目指している。

2つ目の特徴は、ケーススタディで、中国のケースが豊富であること。2003年以降、200ほどのケースを作っている。3つ目は、儒教など人文や法律なども教えていること。4つ目は、世界中の人と学ぶプラットフォームであること。MBAは英語、EMBAは中国語で講義をする。

交流がある大学は、コーネル、コロンビア、ハーバード、UCバークレー、スタンフォード、ウォートンスクール、INSEAD、IMD、ロンドンビジネススクール、ソウル国立大、ケンブリッジ、シンガポール国立大など。

欧米だけでなく、モスクワ、インド、ブラジルなどの大学とも交流がある。「オーバーシーズ・モジュール」という、海外に交換留学に行きながら学ぶジョイントプログラムが充実。中国でのビジネスを学ぶため、海外のMBAからも学生が来る。欧米のトップと中国のトップが共に学ぶ。今後はWディグリーも計画している。

卒業生の強いネットワークも大きな特徴。EMBAは2006年以降だけで5000人の卒業生。MBAとFMBAは1000人。卒業生の勤務先が、中国のGDPの15%を占めている。

フルタイムの普通のMBAは、2003年に始まった。1クラス60人。25%が外国人学生であり、授業は全部英語。14カ月で学位を取得するスピードMBAだ。2011年現在、平均年齢は29歳、企業勤務経験6年以上が受験資格、70%が男子学生、平均GMAT680点。14カ月で35万元という学費は中国一高い。「中国で一番いいチャンスをもものにしてほしい」と夏蓮さん。本当に優秀な人にはスカラシップを出している。

「働きながらMBAとかありえない。うちはフルタイム」夏蓮さん

学生の3～5割は交換留学する。

学生から教授への要求は、「必ず中国のケースを使うこと。しかも最新のケースを使うこと。3週間の「チャイナモジュール」というプログラムでは、学院長はじめ企業人など名立たる人が教え、一般人も有料で聴講できる。

実地訓練も重視、5週間のサマーインターンがある。これは主にEMBAかCEOプログラムの卒業生が経営する会社に、教授1名+学生4-6人で、内部に入り込んで特定の問題解決プロジェクトに取り組む、DCP(Diversified Consulting Project)といわれるものである。2013年は期間に余裕を持って、4月から8月に掛けて4件実施する。

学生たちは、金融やコンサルなど、世界のトップ500企業に入りたいと言っている。ただ、これからは中国のトップ企業に行きたいという声も増えてくるだろう。カリキュラム

は毎年変えていく。2週間全員が北米のMBAに行くプログラムもある。コーネル、コロンビア、ハーバード、UCLA、UCバークレー、シカゴ大など。早稲田でも講義を受ける(同時通訳付き)。2・3年先にはジョイントディグリーもやりたい。

FMBAは金融に特化したMBA。これはパートタイムで土日だけ講義を受けるので、学位取得に2年間かかる。中国語での講義。60%の人はすでに金融業界の人。40%の人は金融に近い仕事の人か、金融業界に行きたい人。理論(セオリー・学術)+手法(メソッド)+知識(ナレッジ・実務)を学ぶ。北京、上海、深センの各キャンパスに50人で1学年150人。学生は中国人がほとんど。学費は45万8000元ととても高いが世界一流の先生が教育に当たる。学生の多くは自腹で来る。

中国の銀行は北京大や清華大の数学科出身者を好んで採用し、彼らは金融をちゃんと学びたいとFMBAに入ってくる。中国では学部で金融を学んで銀行に入るといった流れはない。つまり経済学部や経営学部だから金融業界ということはない。彼らは転職希望だったり、もっと学術的・理論的に金融を勉強したいと言って入ってくる。

EMBAの学生は5月(325人)と10月(260人)に募集。約600人。EMBAは民間企業45%、国営企業25%、外資系企業25%、政府高官5%。平均18年の仕事経験、平均年齢は40歳だが、8年の勤務経験と5年以上の経営層の経験があれば入れる。7割が企業のトップ。2年間、月4日(木金土日)に通う。地方から飛行機で来る人も。学費は65万元。春は北京4クラス、上海1クラス、秋は北京3クラス、深セン1クラスを開講。北京の社長はほとんど取得してしまったので、今は全国から集めている。論文を書いて修士号を取得する。

世界的な認証評価を得ているが、それはもう重視していない。世界的な大学のランキングには積極的に参加しない。それは西洋のロジック。人の後ろについていく生き方。私たちは違う方向を目指す。

卒業生重視。「強大的校友群体」頻繁、豊富、多樣的校友活動、長江文化、帰属感がキーワード。MBAは論文必修。EMBAも論文を書く。書かないと国家の資格としての学位が取得できない。

全球最佳教育資源。米国より待遇が良く、中国の役に立つ教育と研究。若い先生をここで育てていく。学生のほとんどはすでに社会的に成功した人。

培養企業家的人文精神。6日間の社会奉仕が必修。内容は自分で作る。「お金ではなく時間を使いなさい」。貧しい地区の子供の支援や、障害者、老人支援など。人文を重視し、哲学、文学、儒教、孫子などを学ぶ。ソクラテスなど西洋哲学はやらない。

企業家の人格を作る教育。人の値打ちを上げる。リーダーの人間力。歴史、宗教。李嘉誠先生はフォーブスで60位以内に居る唯一のアジア人。

学生は幼稚園児のようにニックネームを付けて呼び合う。社長やCEOが、くまちゃんとかうさぎちゃんとか黒虎ちゃんと互いを呼ぶ。社長と言う肩書を捨てる。

ケースセンターのほか、グローバル研究センター、イノベーション研究センター、投資研究センター、資産管理研究センター、企業の存続可能性研究センター（CRMなど）、もつくる。ケースセンターでは教授の指導のもと、5人の正職員と5人のインターンが1人が月に2～3本のケースをつくる。せかさされて1人が1日で作ったこともある（笑）。半分は大学院生のインターン。フルタイムの仕事でパートタイムの給料。学生は教授に指示されて来た。インターンは夏休みはフルタイム、他は授業の無い日に来る。

夏蓮さんのインタビュー取材おわり。

【大上さん確認版】北京のMBA、長江商学院（その3）

<http://tyamauch.exblog.jp/18011317/>

●Ira Zaka さんに聴くマーケティング・コミュニケーション

次は中国に住んで18年、アルバニア系米国人のイラ・ザカさん（グローバル・マーケティング・コミュニケーションのディレクター）にお話を聞いた。それにしても職員のグローバル化が凄い大学だ。

長江商学院は、中国で新しい世代のビジネスリーダーを作るために、CEOプログラムなど上のプログラムからスタートした。世界中でカンファレンスやセミナーを開催する。200人から500人のイベント。中国から50人のCEOを連れて行って現地のCEOと交流するイベントを開催する。イギリスではバーバリのTOPと中国の長江の卒業生が経営する復星集団のTOPを出会わせる。「どうして私たちは成功したか」「何がうまくいかなかったか」を話しあう。ロンドン、ルクセンブルク、日本などで開催する。大学の知名度を世界に広げるために、TOPビジネスニュースペーパーに告知する。米国の『エコノミスト』『ウォールストリートジャーナル』など。

アジアで初めて西洋に攻めていった学校。でも欧米の人はまだ知らないで、これからが見せ場です。海外事務所でも、ディグリーにはならないが、カスタマイズされたプログラムを提供していきたい。インド、ブラジルなどのニューマーケットまで、仕事の幅を広げていきたい。

世界中で良い人材を見つけたい。研究や学生の質で世界からの評価を上げていく。日本は重要なマーケットではない。まず事務所のあるニューヨークとロンドン。だが日本でも「上の方から」名前を広めたい。

イラ・ザカさんはプリンストン大学の東アジア学部出身。インターナショナルリレーションと東アジア学(中国)を学んだ後、オックスフォードでマスターの手前の勉強をした(が、まだ修士号は取得していない)。

中国はクリエイティブな人材を作る方向に教育が大きく転換したが、日本は変わっていない。欧米と中国は日本抜きでビジネス、教育交流をしている。

長江商学院の教職員数は220人。職員は120～150人だが、足りない。

どのターゲット大学から教授を獲るか。論文の数や質。教授が一番いい大学から獲る。アメリカに渡った中国人が帰って来る。学生に求める水準もかなり高い。COEのコースは2年前の時点で15億元以上稼ぐ人しか入れない。いい学生を獲るはっきりした基準がある。

教授陣がすごい。「あの教授が行ったから」と他の教授も来る。グーグルとバイドゥを比較するなど、世界が注目するケースを作る。CEOが知りたいことを教えている。第一期生の出だしが良かった。

長江商学院は国家管理の大学ではなく、補助金もない。国は教育内容に口を出さないが、学位は取れる。日本の大学は国の大学設置基準にがんじがらめ。財布のヒモまで握られている。

(山内感想) 日本は年寄りの国。管理職や経営者が50歳以上。彼らは中国ではMBAに来るには遅すぎるレベル。日本の30代、40代は経営者・管理職にはなれない。

イラ・ザカさんの話おわり。

●大上智子さんに夕食時に聞いた話

長江商学院の職員の勤務時間は9時～18時。朝は9時半までは遅刻とはみなされない(月に回まで。4回目から給料を引かれる規定になっているが甘い。残業は月20時間までで、その時間は会社に対する「貸し」となり、代わり2日半休める。ほとんどの人は定時で帰り、夜7時にプライベートのアポが入れられる。風邪をひいたら家でメールで仕事しても許される職員もいる。旧正月休みは3週間あるが、残りの年次休暇は5日しかない。

学生を幼稚園児に戻らせてあげる。職員が担任の先生のような役割を果たす。教授は忙しいので、600人の学生を9人の職員が見る。1クラス60人ぐらい。CEOを幼稚園児のように扱う。授業が終わったらおやつが出たり、水やコーヒーや(教員との)同時通訳の準備ができています。資料も全部揃えてあげる。授業の時は子供の学校のように鐘が鳴る。

なぜCEOの学生たちを、子どものように扱うのか。それは、集まる学生が総経理(社長)ばかりなので、誰もがいばっており、わがままになるから。人は謙虚でなければ学べない。そこで、彼らから肩書きと、それに伴う重荷を取ってあげる。

大上さんの話おわり。

【大上さん確認版】北京のMBA、長江商学院（その4）

<http://tyamauch.exblog.jp/18014805/>

●曹（Huining Henry Cao）教授にFMBAの話聞く&そのほか

翌日も取材は続く。まず朝一番は、FMBA（ファイナンスMBA）主任の曹（Huining Henry Cao）教授。彼はUCバークレーから来た。UCサンディエゴやカーネギーメロンでも教えていた。FMBAの教員は12名。テニユア8人、助教授4人。他の教員も、ミシガン大やニューヨーク大のテニユアを持っているなど。

FMBA（金融MBA）は中国語で授業をする。2009年スタート。定員150人で学費は2年間で45万8000元。25科目あるが70%は金融の授業。あとは投資、デリバティブ、国際金融、トレーディング・ストラテジーなど。学生は金融業界に限らず政界に行ってもいい。ニューヨークあるいはロンドンに1年、中国で1年というスタイルも検討している。20科目をクリアしたら卒業。

教員は1年間に16日だけ授業をやればいい。1日は7時間半で年間120時間。ここまでは給料内だが、これ以上の授業をする場合は別料金となる。助教授は国際的な金融の論文を5本書けば教授に昇格できる。

北京大学の教員は長江商学院の教員の20%の給料しかもらっていない。

R&D（リサーチ&ディベロップメント）職員はEEにしかいない。MBA、FMBAにはいない。

この後、助理経理・国際項目部の陳清（シンディー）さん、ナレッジセンターの王さんのお話も聞いたが、メモを取っていないのでパス。ただし、教員の研究成果や情報発信をまとめるナレッジセンターは、日本でも注目すべき取り組みだと思った。

●校友部の人の話

最後は、卒業生を扱う校友事務及発展部の揚（ヤン）さんの話を聞く。校友部は7人の職員で構成されている。揚さんは6000人近い卒業生全員の情報を把握している。まず、EMBAとCEOクラブで構成される、撮影部というOBサークルの、北海道旅行の映像を見る。校友事務及発展部は、卒業生をサポートする部署である。2012年7月現在、卒業生は5700人で、EMBAが76%、CEOが5%、MBAが9%、FMBAが5%、そのほか（短期科目を1年以上受講した人）が5%である。長江商学院はMBA以外部長レベルじゃ入れないビジネススクールなので、おのずとエグゼクティブな人脈となる。卒業生たちのキーワードは、「終身学習」「健康生活」「社会公益践行」だ。日本人なら漢字で意味が分かるだろう。「思想交流」「社会责任」「學術分享」というキーワードも出てきた。

校友たちは、みんなお金も権力もある。だから、そういうものはもうそんなに意味がない。それよりも、後半の人生の一生の友を作りましょう。ということで、互いをニックネームで呼ぶ、裸の付き合いをしている。これはジョークを交えて作成されているそうだが、E

MBA で学ぶ際には「軍規」に従わなければならなかったりする。

第三条 お金がないからと自分を卑下する人は、自分の思想を持っていない人だ。

みたいなもの。（お金があるから言えるんだろう……）

地方校友会は海外含め 35 ある。北米、オーストラリア、ニュージーランドにもある。ゴルフ部、撮影クラブなど、業界や趣味ごとの団体やサークルが存在する。これに加え、社会を良くするために、大学とは別に公益基金を作った。そして社会のために膨大な寄付金を集めた。長江商学院では、ボランティアが必修である。貧しい村や都会の小学校などに、図書館をプレゼントする。1800 万元で 558 の図書館を 23 省 2 自治区に寄贈した。ボランティアは 1500 人。受益児童は 20 万人。CEO が小学校に歌を唄いに行ったりもする。浮浪児に美術教育もしている。「心芸樹（心に芸術の樹を）」というプログラム。貧しい人に音楽教育をする「ドリーム合唱団」というものもある。こうして、貧しい子供たちに技能、仕事、自信を付けさせる。

校友会の話おわり。

この日の夕食は、地下鉄で三里屯に行き、海底撈（ハイディーラオ）火鍋という、日本を超えるすごいサービスの店に行った。

長江商学院のリポートはこれでおしまいです。

が、まだ「その 5」があります。

【大上さん確認版】北京の MBA、長江商学院（その 5）

<http://tyamauch.exblog.jp/18017640/>

＝長江商学院の日本語資料から＝

長江商学院について

・本学について

長江商学院（CKGSB）は、中国初の教員の運営による、独立した非営利のビジネススクールです。2002 年の設立以来、上海と深センにサテライトキャンパスを、香港、ニューヨーク、ロンドンに在外事務所を開設し、国際的なビジネススクールとして発展してきました。また本学創立の際は、李嘉誠基金会より、多大なる経済的なご支援をいただきました。

・国際的な視野

中国の経済的影響力の増大につれて、国際ビジネスの成功に対する、東洋と西洋、両方の価値観を踏まえた長江商学院の独創的な研究も、高い評価を得るようになって考えられます。本学で獲得した知的基盤は、世界中どこに行っても、次のステップを模索する際に強

力な武器となるはずです。

・世界レベルの教員

長江商学院の教員は、各分野の権威であり、その論文は査読付き学術誌に定期的に掲載されています。長江商学院に来る以前は、欧米のトップレベルのビジネススクールで教鞭を取っており、コロンビア大学、INSEAD、ニューヨーク大学、スタンフォード大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、ウォートンスクール、イエール大学などの有名校で、終身雇用されていた研究者も少なくありません。本学の教員は、中国の経済成長が先進国の市場に対し、またブラジル・ロシア・インド・中国（BRIC）やASEAN 共同体などの新興勢力に対し、どのような影響力を持つのかという点に、関心を寄せています。

・研究と分析

長江商学院は研究と知的創造に重きを置き、独自の方法で東洋と西洋の間にはかけ橋を築いてきました。たとえば本学の教員による国際的な研究では、中国や新興国の市場が持つ影響力の増大がテーマになっています。また研究対象は、国際社会で台頭しつつある中国经济から、中国企業のグローバル化戦略、多国籍企業、国営企業、民間企業、ファミリー企業間の競合・協力関係まで、多岐に渡っています。これらの学術研究は現場での経験や、広範な修了生のネットワークから得られる情報に基づいて行われています。

・修了生のネットワーク

長江商学院の修了生には、起業精神を発揮して大きな成功を収めている中国人企業家が複数います。また中国初め、世界各国に送り出した 5,000 人以上の修了生の多くが、中国最大の民間企業や国営企業の幹部、多国籍企業の経営陣、政府高官として活躍しています。

・社会的責任を果たすために

長江商学院は、ビジネス教育プログラムを通じて、人道的な観点に立って社会的責任の果たせる人材の育成に努めています。このような人材でなければ、次世代のビジネスリーダーとして、国際社会の中で成功を持続させることはできないと考えるためです。

研究と分析

・ケースセンター

長江商学院ケースセンターでは、2003 年の設立以来、ダイナミックな中国经济を分析し、250 点以上のオリジナルのケーススタディを、英語や中国語で作成してきました。本学の教員や中国の産業界のビジネスリーダーと緊密に連携しつつ、めまぐるしく変化する中国のビジネス環境の中で必要不可欠な研究を、中国企業のグローバル化戦略、多国籍企業の中国戦略、ファミリー企業における理想的なリーダーシップの継承方法、政府と企業の相関関係、人材問題、技術革新、マーケティング慣行、サプライチェーンマネジメントなどをテーマに行っています。

・長江商学院内の研究センター

専門に特化した研究センターを 8 ヶ所擁する長江商学院は、イノベーション、持続性、グローバル化、起業精神、新興国市場などをテーマに、国際的な研究を行うトップ校のひとつです。また本学は、最近の中国企業のグローバル化によって引き起こされた先進国や新

興国のビジネスの変容について、詳細な情報を蓄積している権威でもあります。多国籍企業が中国で中国とともに成功するために、中国や新興国におけるビジネス戦略をどのように世界戦略に組み込むべきかについても研究を重ね、マネジメント理論の提唱を行っています。

・長江商学院の知的基盤

本学独自の研究を促進させるために、2012年の初め、マルチメディア／デジタルコンテンツを提供するウェブサイトを新規に立ち上げました。長江商学院ナレッジセンターでは、中国経済の変容を事実即して記録し、その変容が他国に与える影響に対し検討を加え、中国や新興国のビジネス動向や経済潮流の分析、展望について学ぶ場を提供しています。

・国際的な研究と分析

長江商学院は国際フォーラムを主催し、国際会議へ参加することにより、世界経済における中国の役割を巡って、研究者と企業の経営者や政府職員が情報を共有したり、意見交換を行ったりする場を作り出しています。会議では、中国と欧米諸国の間の溝を埋めるために、中国などの新興勢力を企業の世界戦略に組み込む方法について検討しますが、特に最近では、中国の発展とその影響、中国企業の国際化による世界経済の再編、CEOが直面している課題などが、議論の対象となっています。

・長江商学院年次フォーラム

海南島の三亜市で開催される長江商学院年次フォーラムは、著名な研究者や政府高官と、1,500人以上の本学の在学生や修了生を含む企業家の、交流の場であるとともに、中国企業が直面している深刻な課題を巡って討論が行われる、国内でも有数のビジネス会議となっています。

・長江商学院国際ビジネスフォーラム

長江商学院は外国の著名な研究機関と提携し、英国と日本、韓国で、CEOフォーラムを毎年開催しています。この国際フォーラムは、中国の経済成長が世界に与える影響について、影響力の強いビジネスリーダーと本学のCEOプログラムの参加者が、意見を交換したり議論したりする場になっています。

・中米CEOフォーラム

長江商学院がニューヨークで共催しているハイレベルな中米CEOフォーラムには、ビジネスリーダー、エコノミスト、ジャーナリスト、政府機関や非営利団体の代表が招かれ、本学の世界レベルの教員や強い影響力を持つ修了生が、世界経済の変遷の中で中国が担っている役割を分析します。

・アーンスト・アンド・ヤング・中国アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー

2011年度アーンスト・アンド・ヤング・中国アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーの選出に当たり、長江商学院は、アーンスト・アンド・ヤングの専属パートナーとして情報提供を行いました。この賞では、先見の明をもってリーダーシップを発揮し、素晴らしい業績をあげた実業家が表彰されます。

・オックスフォード・アントレプレナーズ・ソサエティ新興国シリーズ

若い実業家が新興国のビジネス慣行と起業風土について学べるよう、長江商学院はオックスフォード・アントレプレナーズ・ソサエティと共同で、新興国シリーズを立ち上げました。このシリーズでは、ロシア鉄道社長のウラジミール・ヤクーニン氏、世界銀行元理事のイアン・スコット氏、本学修了生で方源資本 CEO の唐葵氏などが講演を行っています。

MBA プログラム概略

長江商学院の MBA プログラムは 14 ヶ月間の全日制で、英語で授業を行っています。有望でやる気のある人材が、中国やその他の新興勢力に対する理解を深め、次世代の国際派ビジネスリーダーになれるように指導しています。2010 年に入学した学生は 75%が中国人、25%が外国人で、GMAT の得点の平均は 680 点でした。

2003 年に課程を修了した一期生の職業調査には、MBA 取得後 6 年間で給与が最大 283%増加し、平均年収は 709,630 元（112,545 米ドル）だという回答が寄せられており、中国の他の学校で MBA を取得した場合より、高い収入を得ていることが分かります。

また本学には独特のメンター制度があるため、MBA プログラムの学生は、中国の民間セクターや公共セクターの中でも最大手の企業で、最高のビジネスリーダーとして働いているエグゼクティブ MBA プログラムの学生と知り合い、公私に渡ってアドバイスを求めることも可能です。

本プログラムでは選択科目を履修して、中国語や中国文化を学んだり、コロンビア・ビジネススクールやコーネル大学のジョンソン・スクール、バージニア大学のダーデン経営大学院など、本学の提携校で交換留学生として勉強したりすることも可能です。このように、本学の MBA プログラムの学生にはさまざまなチャンスがあるため、国際社会の中でも中国や新興勢力のことを完全に理解して、真に国際的なビジネスリーダーになることができます。

エグゼクティブ MBA プログラム概略

2002 年に開設されたエグゼクティブ MBA (EMBA) プログラムは、長江商学院を代表するプログラムで、エグゼクティブ教育にも「頂点を目指す」斬新な手法を導入し、高水準なマネジメント理論の提唱を行っています。この 2 年間の社会人課程では中国語で授業を行い、仕事の上であるいは個人的に直面するであろう課題を克服できるよう、中国の優秀なビジネスリーダーを訓練しています。2011 年、『フォーブス』中国版で、中国で最も投資回収率の高い EMBA プログラムと絶賛された本課程には、国内最強の人脈を持つビジネスリーダーが在籍し、修了生は最も影響力のあるビジネスネットワークの中核となっています。

2002 年に始まった本プログラムの修了生は 3,000 名を超え、平均して 76%の在校生が、中国最大の民間企業や国営企業で副社長、またはそれ以上の役職に就いているか、北京、上海、深センなどの中華圏やアジア諸国の主要なビジネスリーダーであるかのどちらかです。また本プログラムでは、北米やヨーロッパで開講される講座に参加して、国際的な視点やネットワークに触れられるだけでなく、社会的責任や文化的価値観、地域社会についてし

っかり考える機会を持つこともできます。さらに、本学の独創的な EMBA プログラムには、カリキュラムの重要な柱となる 6 日間の地域奉仕活動が含まれ、ビジネスのやり方ではなくビジネスをする理由について今一度振り返ってもらうために、一般教養科目も盛り込まれています。

【参考】

中国 MBA（長江商学院 MBA2010）留学ブログ

<http://blog.livedoor.jp/ckmba2010/>